

鏡石町のこれから農業

矢吹原土地改良区理事 佐藤 幸二郎



矢吹原土地改良区理事
きとういちろう
佐藤 幸二郎 さん

私は現在、矢吹原土地改良区事業担当理事をしています。今年はダム工事と雪不足により羽鳥ダムの貯水不足が発生し、昨年パイプラインの漏水事故があり、工事により復旧し充水作業中再び漏水が発生し、緊急工事により五月二十日通水となりました。しかし貯水量が少なく、通常では七月上旬までの貯水でしたが、梅雨らしい天候と断水によって九月十日まで通水され、稲作も豊作になるようで、ひと安心しています。

農者の高齢化や耕作放棄などの離脱農家の発生など問題は多く、農地有効利用には大区画圃場が必要です。町全体の計画を図ることは考えないのでしょうか。農地集積を図るためにも検討してはどうでしょうか。もしこのままであれば、農地は荒れ放題となり、環境も悪く維持だけの費用では発展は見えませんが、農地を維持するには農地所有者の責任もあると思います。



秋の収穫風景

東日本大震災発生から九年目となりますが、あの時、改良区のパイプライン事故が起こり、通水を断念し、古田も水が無く休耕しました。鏡石町内の多くの古田も水源は羽鳥ダムにあったのは明白です。この水源を確保維持し続けることは、町内新田古田を問わず重要なことです。水源を有効に活用するためにも、町内全体の水田の整備が必要で、古田だけ整備計画されていると聞きますが、ぜひ調整を図って欲しいです。また、改良区賦課金も決して安くなく、もし組合員の負担過多により改良区維持困難などになれば水源確保は可能か。現在の水源を守ることは、全体で行動するべきと思います。

鏡石町が基盤整備事業を真剣に考えていたからなら、新田(改良区関係水田)と古田の区別することなく、全体的調和を図り、改良区関係水田の維持継続できる計画を考えて下さい。



研修参加者の真剣なまなざし

町村議会広報研修会が、9月24日(火)に、シエンパツハ・サボール(東京都千代田区)で開催され、広報広聴常任委員6名が参加しました。研修会では、①「読者目線で親切な広報誌を作るには」手に取られ、読まれ、行動に結びつけるには」②「情報をわかりやすく伝える」③「町村議会広報コンクール上位入賞団体の評価のポイント」について各講師から講話がありました。

今回の台風19号により被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。災害は、忘れたころにやってくるという言葉ですが、備えなどは、いつでも確認しておきたいものです。9月の定例会において、平成30年度一般会計及び特別会計の施策成果によるそれぞれの決算審査が行われ、総額約94億円の決算が認定されましたことをご報告いたします。広報広聴常任委員会の新しい6名による議会だよりの編集・発行が始まりました。話題と豊富な情報の提供、町民の皆様に高いテーマの取り組みと、町議会への関心が身近に感じて頂けるよう、より良い議会だよりを目指し、委員一同で取り組んで行く所存です。

広報広聴常任委員会
全国広報研修会に参加

編集後記

- 発行責任者 古川 文雄
- 議長 廣田 文雄
- 副委員長 今泉 文克
- 委員 大原 正雄
- 委員 畑 幸一
- 委員 角田 真美
- 委員 木原 秀男
- 委員 円谷 寛

かがみい 議会だより

No.174
令和元年11月
発行 福島県鏡石町議会
編集 広報広聴常任委員会
〒969-0692 福島県鏡石町 本町5-3-45
電話 0248(62) 2110
印刷 ㈱米山印刷



台風19号により 阿武隈川氾濫

目次

台風19号関連 2ページ

第1回臨時会 3ページ

第1回定例会 5ページ

一般質問 7ページ

審議の結果 11ページ

町民の声 12ページ



10月12日(土)～13日(日)にかけて東日本を縦断した台風19号は、各地に大きな被害を及ぼしました。各地にもたらした雨は、河川を増水させ、成田地区でも、阿武隈川で2カ所、鈴川2カ所が決壊し、住宅や倉庫など床上浸水となり、大きな被害となりました。

議長に 古川文雄氏 を選出 副議長に 畑 幸一氏

初議会 (第1回議会臨時会)

新議会構成が決まる

第1回議会臨時会が9月9日(月)に開催されました。今回の議会臨時会は、8月25日に行われた鏡石町議会議員一般選挙で当選した議員による初めての議会です。

初議会は、臨時議長(年長議員)の井土川好高議員が開会を宣言。仮議長指定の後、議長選挙が行われ、古川文雄議員が当選しました。古川文雄議長が臨時議長と交代し、続いて副議長選挙が行われ、畑幸一議員が当選しました。

この後、議席指定、各常任委員・議会運営委員の選任、一部事務組合議会議員選挙等が行われました。

また、監査委員に選任同意案件の採択が行われ、小林政次議員の監査委員選任が同意されました。



第1回臨時会

副議長就任 のあいさつ 畑 幸一



今回の初議会におきまして、副議長に就任することとなりました。議長の補佐役として、開かれた議会の運営を目指すとともに、町民の代表者として、皆様の声を町政に反映すべく努力して参りたいと思っております。先月の台風19号で被災された皆様には、心よりお見舞い申し上げます。東日本大震災からの復旧が終了したばかりで、また新たな災害の発生となりました。災害は、忘れた頃にやってくると言いますが、

毎年、日本のどこかで大きな災害が発生しております。災害に強い町づくりを目指し、町民の皆様と一緒に取り組んで参ります。町民の皆様のご支援とご鞭撻を心からお願ひ申し上げます。就任の挨拶といたします。

○略歴
昭和22年3月11日生72歳
当選3回。この間、総務文教常任委員会委員、議会運営委員会委員、須賀川地方保健環境組合議会議員を歴任

議長就任の あいさつ 古川文雄



今回の初議会において、議長に就任することとなりました。これまでの最年少議長という身に余る要職に就くこととなりましたことは、ひとえに町民の皆様のご支援の賜物であることを深く肝に銘じたく思います。先月の台風19号により、被災した町民の皆様方には、心よりお見舞い申し上げます。議会といたしましても、災害復旧や生活再建などについては、万全な対応となるよう取り組んで参ります。これまでも進められてきた議会改革、町民の皆様にご信頼

される開かれた議会を目指し、取り組んで参る所存であります。これからも町政発展のため、町執行と歩みを合わせ、山積する課題に取り組んで参ります。町民の皆様のご支援とご協力を心からお願ひ申し上げます。就任の挨拶といたします。

○略歴
昭和47年11月3日生47歳
当選3回。この間、産業厚生常任委員長、議会運営委員長、須賀川地方保健環境組合議会議員を歴任。

台風19号 成田地区に甚大な被害

町議会では、この度の台風19号被害からの復興を迅速かつ的確に進めるために、議長・副議長を本部長・副本部長とする町議会災害(台風19号)復興対策本部を設置し、21日(月)に第1回本部会議を開催し、町への緊急提言書をまとめました。

これを受け、町に対し迅速な対応を求め、緊急提言書を提出しました。被災者の皆さんに寄り添っていただけるよう今後も、継続して、復興に関し国や県などへの要望など活動を続けて参ります。



現地視察の状況(13日)



町長から説明を受ける

災害(台風19号)復興に関する緊急提言書(抜粋)

令和元年10月21日提出

鏡石町議会災害(台風19号)復興対策本部

鏡石町議会は、被災からの早急な復旧・復興を目指し、10月21日に「鏡石町議会災害(台風19号)復興対策本部」を設置しました。これまで議会に寄せられた町民の声を町当局に繋ぎ、速やかな対応をお願いするため別紙のとおり提言いたします。

- 1. 特定非常災害、激甚災害指定による対応周知等について**
 - 特定非常災害の指定に関する各種支援について、被災者への情報周知を徹底すること。
 - 激甚災害の指定を受けたことにより、適用範囲等について、速やかな周知徹底を図ること。
- 2. 被災者生活支援について**
 - 被災された方々の早期の生活再建に資するため、各種被災者支援制度を早期に運用すること。
 - 住宅再建、生活再建、事業再建が速やかに図られるよう融資制度や助成制度を創設すること。
- 3. 農業復興について**
 - 今後の営農については、明確で具体的なビジョンを打ち出すと共に、農家救済のための窓口を設置し、遅滞なく情報の発信を行うこと。
 - 農地及び農業用施設の早期復旧に努めること。
- 4. 商工業復興について**
 - 災害の影響を受けた事業主の事業活動支援のため、積極的な災害特別融資資金制度などの創設と補助制度の活用推進の支援を行なうこと。
- 5. 公共施設等の復旧について**
 - 阿武隈川・鈴川決壊箇所等の応急復旧を早期に完了させること。



本部長・副本部長より緊急提言(町長室にて)

平成30年度決算総額94億2千万円 2億6千3百万円の黒字決算

令和元年9月(第1回)定例会は、9月17日から10月4日までの18日間にわたって開かれました。

平成30年度の一般会計及び各特別会計決算認定については、決算審査特別委員会が設置され4日間の審議を経て、全会計を全会一致で決算書のとおり認定しました。

決算総額は、94億2千万円となり、2億6千3百万円の黒字決算となりました。

その他の案件については、財政健全化法に基づく報告1件、教育委員の任命同意、条例改正7件、上水道事業会計剰余金の処分1件、平成30年度補正予算8件、そして陳情2件等の全22の案件を審議し、議決いたしました。

また、一般質問は9月18日(水)に行われ、3名の議員が登壇。多岐にわたり町政を質しました。



平成30年度歳入歳出総括表

(単位：千円)

会計区分	歳入決算額	歳出決算額	形式収支	実質収支
一般会計	6,056,934	5,966,644	90,290	82,682
国民健康保険特別会計	1,471,659	1,325,935	145,724	145,724
後期高齢者医療特別会計	105,775	105,235	540	540
介護保険特別会計	1,009,782	987,540	22,242	22,242
土地取得事業特別会計	30,057	30,000	57	57
工業団地事業特別会計	47,515	46,951	564	564
鏡石駅東第1土地区画整理事業特別会計	147,941	147,093	848	848
育英資金貸付費特別会計	5,289	5,258	31	31
公共下水道事業特別会計	485,128	482,447	2,681	2,681
農業集落排水事業特別会計	67,040	66,179	861	861
小計	9,427,120	9,163,282	263,838	256,230
上水道事業会計	収益的	302,622	246,381	56,241

*実質収支とは、歳入歳出差引額(形式収支)から翌年度へ繰り越すべき財源を控除した決算額です。

12名の町議会議員を紹介します



4番 菊地 洋
岡ノ内533-3 3期
総務文教副委員長
議会運営委員



3番 橋本 喜一
久来石113 2期
総務文教委員長
議会運営副委員長



2番 角田 真美
岡ノ内14-10 1期
産業厚生委員長
広報広聴・議会運営委員



1番 畑 幸一
鏡沼273 3期
副議長・産業厚生委員
広報広聴・議会運営委員



8番 大河原 正雄
中町382 6期
総務文教・議会運営委員
広報広聴副委員長



7番 渡辺 定己
高久田55 5期
産業厚生副委員長
議会運営委員長



6番 井土川 好高
本町127 3期
総務文教委員



5番 小林 政次
笠石135 3期
産業厚生委員
町監査委員



12番 古川 文雄
南町353 3期
議長
総務文教委員



11番 円谷 寛
豊郷中661 8期
産業厚生委員
広報広聴委員



10番 木原 秀男
中央226 6期
産業厚生委員
広報広聴委員



9番 今泉 文克
鏡沼246 6期
総務文教委員
広報広聴委員長

常任委員会・議会運営委員会の構成

○ 議会選出監査委員

小林 政次

○ 一部事務組合議会議員

須賀川地方広域消防組合議会議員

橋本 喜一

須賀川地方保健環境組合議会議員

円谷 寛

公立岩瀬病院企業団議会議員

木原 秀男

○ 常任委員会

委員会	委員長	副委員長	委員
総務文教	橋本 喜一	菊地 洋	井土川好高、大河原正雄、今泉文克、古川文雄
産業厚生	角田 真美	渡辺 定己	畑 幸一、小林政次、木原秀男、円谷 寛
広報広聴	今泉 文克	大河原正雄	畑 幸一、角田真美、木原秀男、円谷 寛

○ 議会運営委員会

委員会	委員長	副委員長	委員
議会運営	渡辺 定己	橋本 喜一	畑 幸一、角田真美、菊地 洋、大河原正雄

一般質問

三議員が町政を問う

一般質問

は、議員にとって、住民から重大な関心と期待を持たれる大事な議員活動です。町政全般にわたって執行機関に問題点を質し、所信の表明を求め、議員自らの政策提言を行い政治姿勢を明らかにするものです。

質問する議員は、執行当局に事前通告をします。本会議場での持ち時間は1人40分間で答弁の時間は含みません。次ページから、一般質問の要旨を掲載しました。(1人1ページ)
 なお、今議会の登議員は3人でした。

ページ	質問者(登壇順)	質問事項
8	木原 秀男	○令和元年度鏡石町議会議員一般選挙の総括について
9	円谷 寛	○バリアフリーの町づくりについて ○町施設の指定管理者への委託の見直しについて ○公契約条例により労働条件の悪化に町は歯止めを 考えるべきと考えるが、町当局の考えは？ ○学校給食の無償化実施について
10	角田 真美	○道路整備について ○教育行政について

議会傍聴へお越し下さい

次回の定例会は、12月となります。あなたの目と耳で確かめ、町政に参加しませんか。
 傍聴手続きは、役場庁舎2階の議会事務局事務室で住所と氏名を書くだけで、どなたでも傍聴できます。

表彰を受ける滝田さん



町議会では、議会傍聴者に対し、100人毎の節目に表彰状と記念品を贈呈しています。
 第1回定例会では、本会議二日目の一般質問の傍聴者、滝田ミサ子さん(岡ノ内)が通算3,800人目の傍聴者となり、古川議長から、表彰状と記念品が贈られました。

議会傍聴者
3800人目

平成30年度各会計決算を認定

平成30年度の各会計決算認定については、9月17日の本会議において、決算審査特別委員会(大河原正雄委員長外9名)が設置され、町長から提出された決算に係る関係書類に基づき、4日間の審査が行われました。

各会計決算の主な内訳や町債残高の状況、主な財政指数及び財政健全化判断比率の報告を受け、各課各事業の内容等の説明の後、質疑回答方式により審議いたしました。

10月1日に、特別委員会の最終審査の中で採決を行い、その結果を10月4日の本会議において、「全会計において承認すべき」との委員長報告があり、全会一致で決算書のとおり認定されました。

監査委員の決算審査・ 財政健全化審査意見(要旨)

- 審議に付された一般会計、特別会計及び上水道事業会計の歳入歳出決算書・歳入歳出決算事項明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書は法令に準拠して作成されており、決算係数は関係帳簿及び証拠書類と照合した結果、誤りないものと認められた。また、各基金の運用状況を示す書類の係数についても、関係証拠書類と符合しており、誤りないものと認められた。
- 健全化判断比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類は、いずれも適正に作成されているものと認められた。
- 当年度の決算内容を見ると、ほぼ震災前の姿に戻ったことを物語る結果となった。ただし、依然と自主財源の確保が難しい状況にある。特に町税の収納率の目立った向上はなく、国県からの補助に頼る構図に変わりはない。さらに「扶助費」など義務的経費の負担は重く、今後益々重くなっていく。町の財政状況を示す財政健全化比率は、年々改善されている。

主要財政分析指標

	平成30年度	平成29年度	平成28年度
財政力指数	0.597	0.57	0.55
経常収支比率	85.7%	84.9%	84.6%

財政健全化判断比率

(単位:%)

	平成30年度	平成29年度	平成28年度	早期健全化基準
実質赤字比率	—	—	—	15.0
連結実質赤字比率	—	—	—	20.0
実質公債費比率	8.6	9.3	10.0	25.0
将来負担比率	43.7	39.4	27.3	350.0



- バリアフリーの町作りについて
- 町施設の指定管理者への委託の見直しについて
- 公契約条例により労働条件の悪化に町は歯止めを考えるべきと考えるが、町当局の考えは？
- 学校給食の無償化実施について

円谷 寛議員

質問

4年前のスポ少指導員による私への歪曲された「傷害」事件を町当局はどのように認識しているのか。また、「町民プール」の指

要望して行きます。

教育長

指定管理者の候補選定に際しては、人件費削減よりも法令順守や利用者の安全確保など専門的資格と知識を要求している。これに基づいたプール運営をしていると認識し

町長

現在、ダンピング対策として、最低制限価格を設定して

教育長

県内では12の自治体が全額補助、半額補助が10で、一部補助が10である。財源は相双地区が被災児童生徒就学支援等臨時特例交付金を利用し、全額補助を活用して、その他は自主財源で実施している。当町の全額無償化を実施すると試算では一年間で約六千万の財源が必要となる。一部無償化についても困難である。

一般質問

一般質問

令和元年度鏡石町議会議員一般選挙の総括について



木原秀男議員

質問

町議選投票率が低下を続けるのはなぜか。

町長

一般論として「政治への無関心とあきらめ」「選挙の争点の不明確」「地域の結びつき」の弱さ」「女性や若い候補の不在」などがあるとされている。

質問

町政懇談会はなぜ無くなったのか。

総務課長

平成24年度から4年ごとに実施しており、次回は各行政区長と協議のうえ令和2年に実施する予定である。

質問

町議選立候補者の合同個人演説会はなぜ無くなったのか。

総務課長

合同個人演説会は、過去の町内選挙で第三者の呼びかけに応じて各立候補者が同じ日時と場所で行ったもので、町選管や行政が関与したもので

質問

議員報酬の日当制、議員の定年制は。

総務課長

地方自治法で町議には報酬等が支給されることになっており、支給額や方法は町の条例で定めることとなっている。日当制は県内では矢祭町のみとなっている。定年制につい



はない。

質問

町議選立候補者全員の健康診断の必要性はないか。

総務課長

町議選立候補者の要件に健康診断の受診結果の判断基準はないので必要ないと考える。

質問

夜間議会、土日議会について、議会側で提案して頂ければ執行側で検討させて頂く。町子ども議会は平成25年度から昨年度まで3回開催し、始めは町議場で開催していたが、昨年度から多くの子どもたちが学習してもらうため、各学校で開催している。

質問

夜間議会、土日議会、子ども議会の必要性は。

総務課長

夜間議会、土日議会については議会側で提案して頂ければ執行側で検討させて頂く。町子ども議会は平成25年度から昨年度まで3回開催し、始めは町議場で開催していたが、昨年度から多くの子どもたちが学習してもらうため、各学校で開催している。

質問

牛池ため池に防護柵の設置を。

都市建設課長

道路の利用状況を踏まえ、行政区等と相談し調査をした

質問

4号国道地下道エレベーターの故障について。いつ使用できるのか。

都市建設課長

4月の寒暖差による結露で制御盤が故障し、入札手続き等で遅れたが今年中には完成予定と国から報告があった。

質問

沖繩北谷町との子ども交流を再開すべきと考えるが。

教育課長

東日本大震災やスポーツ少年団加入者の減少により、近年は行われていないが、このような交流は教育上大切なことと考えているので交流が再開できるか検討したい。



昨年、実施された出張子ども議会

質問

役場庁舎2階および鏡石駅へのエレベーターもしくは、簡易エスカレーターを設置をどう考えるのか。

総務課長

役場については、エレベーターまたは簡易エスカレーターの設定も対応すべき課題と認識していますが、建物が古く、設置スペースや建物の強度・構造上の問題などの課題が多く、建築の専門家からの意見を聞き、調査研究を進めます。

質問

定管理者の改善状況について具体的な内容の説明を求める。

町長

私は新聞の報道しか見ておりませんので、それ以上のことをお答えすることはありません。

現在の指定管理者は平成29年4月から変更されている。現在は一般の利用者との利用時間やコースの利用調整を指定管理者派遣の館長が直接現場で調整を行い、公平な利用に努めています。

質問

公契約条例に関して、新たな資格取得や必要な人材確保ができない恐れなどから、より優れた指定管理者に管理運営を委託するべきと考える。

質問

公契約条例に關して、プール監視員が「コンビニのアルバイトに採用になった」と「低賃金を理由に退職した状況についての説明を求める。

公契約条例を制定し労働者の低賃金化の歯止めをするべきと考える。

質問

子育て支援の一貫として、学校給食の無償化をわが町でも実施すべきと考えるが。

教育長

県内では12の自治体が全額補助、半額補助が10で、一部補助が10である。財源は相双地区が被災児童生徒就学支援等臨時特例交付金を利用し、全額補助を活用して、その他は自主財源で実施している。当町の全額無償化を実施すると試算では一年間で約六千万の財源が必要となる。一部無償化についても困難である。

第1回定例会 審議の結果

※令和元年9月定例会議案（報告等含む）22件（認定1件、報告1件、教育委員同意1件、条例改正7件、補正予算8件、陳情2件、議員発議1件、その他1件）

※議案等は、すべて全会一致で可決・認定・同意されました。

議案等番号	議案件名及び概要等	議案等番号	議案件名及び概要等
認定第1号	平成30年度鏡石町各会計歳入歳出決算の認定について (平成30年度一般会計外10会計決算の認定)	議案第11号	令和元年度一般会計補正予算(第2号) (幼児教育・保育の無償化やふるさと納税の増加、地域おこし協力隊設置などにより104,722千円の増額補正)
報告第1号	平成30年度鏡石町財政健全化判断比率及び資金不足比率の報告について (地方自治体の財政の健全化に関する法律に基づく報告)	議案第12号	令和元年度鏡石町国民健康保険特別会計補正予算(第2号) (30年度事業確定による繰越金等100,596千円の増額補正)
議案第2号	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて (添田健男氏の任期満了に伴う再任同意)	議案第13号	令和元年度鏡石町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号) (30年度事業確定による繰越金538千円の増額補正)
議案第3号	鏡石町印鑑登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例の制定について (旧氏での印鑑登録を可能とするため等の改正)	議案第14号	令和元年度鏡石町介護保険特別会計補正予算(第2号) (30年度事業確定による繰越金等24,605千円の増額補正)
議案第4号	鏡石町農業集落排水処理施設設置条例の一部を改正する条例の制定について (消費税改正に伴う使用料金の改定)	議案第15号	令和元年度鏡石町工業団地事業特別会計補正予算(第1号) (30年度事業確定による繰越金562千円の増額補正)
議案第5号	鏡石町道路占用料徴収条例の一部を改正する条例の制定について (消費税改正に伴う占用料の改定)	議案第16号	令和元年度鏡石町鏡石駅東第1土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号) (30年度事業確定による繰越金、保留地処分基金等4,446千円の増額補正)
議案第6号	鏡石町下水道条例の一部を改正する条例の制定について (消費税改正に伴う使用料金の改定)	議案第17号	令和元年度鏡石町公共下水道事業特別会計補正予算(第1号) (30年度事業確定による繰越金2,680千円の増額補正)
議案第7号	鏡石町上水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について (消費税改正に伴う水道料金・メーター使用料金等の改定)	議案第18号	令和元年度鏡石町農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号) (30年度事業確定による繰越金860千円の増額補正)
議案第8号	鏡石町立幼稚園設置条例の一部を改正する条例の制定について (幼児教育・保育の無償化に伴う入園料・授業料等改正)	陳情第1号	米軍普天間飛行場の辺野古移設を促進する意見書に関する陳情 (宜野湾市民の安全な生活を守るための移設を推進する意見)
議案第9号	鏡石町立幼稚園預かり保育条例の一部を改正する条例の制定について (幼児教育・保育の無償化に伴う保育料等の改正)	陳情第2号	幼児教育・保育の無償化の実施に伴う陳情書 (無償化による地方自治体の財政負担軽減、給食食材費の無償化、保育の質的・量的拡充などの陳情)
議案第10号	平成30年度鏡石町上水道事業会計未処分利益剰余金の処分について (地方公営企業法に基づく千円の積立処分)	意見書案第1号	幼児教育・保育の無償化の実施に伴う意見書(案)

○道路の整備について

○教育行政について



角田真美議員

質問
道路の整備について、国道4号線工事の進捗状況と工事完了までの予定は。

町長

鏡石拡幅工事は国道4号線の交通量の増加に伴う交通混雑の解消や交通環境の確保を目的とし、総延長4.5kmについては平成21年度着手し役場前交差点以北の2.3kmについては今年度中に工事を進め完成予定であると国から報告されている。役場前以南は改良工事を推進中であり、路床改良が想定され、施工条件が整った時点でお知らせしたい。

質問

工事の長期化による町の対応について。

都市建設課長

今後の工事進捗状況を踏まえて公表したい。早急な工事推進が必要不可欠なため、早期全線開通への要望活動を行っております。

質問

4号線工事のために迂回路



町道状況の説明を受ける

化している旧4号線の小学生児童の通学時間帯の安全確保について。

総務課長

多くの車両は国道4号線を避け、平行する旧4号線を通行している。町では児童の交通安全対策として教育委員会や警察署などの関係機関と連携し通学路の点検や歩道整備などの安全対策を進めている。

質問

4号線工事の長期化による旧4号線(旧国道)の道路損傷の補修経費を国に請求できないか。

都市建設課長

道路の維持は、各々の道路管理者がすべきもので国への請求は考えていない。

質問

教育行政について。今夏の第一小学校のプール授業で、町民プールを利用した理由について。

教育課長

今年度から「小学校町民プール利用事業」を新規事業として第一小学校の水泳授業を実施している。理由としては、第一小学校の学校プールの老朽化で47年経過している。全面改修は多額の事業費がかかる。町民プールを利用するメリットとして、水温・水質・衛生面で安定しており、天候に左右されないことである。移動としてはバスを借り上げしている。

質問

プールの改築計画について

教育課長

来年度も町民プールを利用した水泳授業を継続していきたい。第二小学校・中学校についても施設の現状を点検し総合的に検討していきたい。

質問

鳥見山公園の体育施設の小

中学生の利用頻度は。

教育課長

鳥見山公園の体育施設は、小中学生や体育協会加盟団体などに利用されている。バドミントン、バレーボール、卓球、テニス、野球、サッカー、陸上など開館日数の9割が稼働している。

質問

町外の小中学生の利用頻度について。

教育課長

陸上競技場は須賀川市、天栄村、矢吹町など近隣中学校の多くが利用している。

質問

鳥見山公園を中心とした体育文化施設の環境を生かした我が町独自の教育の取り組みについて。

教育課長

この恵まれた環境の中で、これまでも様々な活動を行ってきたが、さらにかがみしスポーツクラブや各スポーツ少年団などの支援を行い、様々な事業を進めていきたい。